

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 4章 1-4節 (新約聖書 4頁)

さて、イエスは悪魔から試みを受けるため、靈に導かれて荒れ野に行かれた。そして四十日四十夜、断食した後、空腹を覚えられた。すると、試みる者が近づいて来てイエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」イエスはお答えになった。

「『人はパンだけで生きるものではなく
神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる』と書いてある。」

神の与える試練

「荒れ野」とは岩や石がゴロゴロとして、水もなく乾燥した、何も実らない不毛なところだと言います。迷い込んだ動物を狙う野獣もいました。ですから荒れ野には悪魔が棲むと恐れられていました。しかし、だから逆に神様に出会い、励ましを受けるところだとも信じられていました。

「靈は」とあるのは、神様の目に見えない力がイエスを荒れ野に導き、悪魔から試みを受けるようにしたということです。神様は何もない、何も頼るものがないところで、四十日四十夜断食して、空腹を覚えていた時に、それでも私があなたに与えた道を信じるかと、イエスを試したのです。

そして悪魔が登場します。悪魔は「神の子なら」と呼びかけ、「これらの石がパンになるように命じたらどうだ」と囁くのです。イエスは「人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる」と答えます。人が生きるためにパンだけではなく、神様の励ましの言葉が必要だと答えます。

もし何の苦労なくパンが手に入れば、人のパンを奪ってでも欲しくなるかもしれません。悪魔は人が最も弱っている時に、互いに争うようにと近づいてきます。でもイエスは空腹を覚えた時、神様の励ます言葉が心に広がりました。そしてわずかなパンでも感謝し、分かち合う道を、十字架の生涯をかけて示していきます。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、今週水曜日よりレント、受難節を迎えます。十字架へ向かうあなたの受難と復活を覚え、神様の愛に生きることの困難と喜びを学びます。あなたは荒れ野で四十日間断食した後に飢え、悪魔の試みに遭いました。私たちも日頃の生活をふり返り、自分自身を見つめ、あなたの励ましに生かされ、互いに愛し合う道を歩ませてください。寒暖の差が続いますが、体調に気をつけ年度末の学びを続けさせてください。またいまだ愚かにも争いを続ける人々には悔い改めの心を与え、特に嘆き悲しむ人々の祈りを省み、共に支え、ひと時でも早くあなたの平和に与らせてください。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びの時を過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願ひいたします。アーメン